

# 2019 年度活動報告書

法人の名称 特定非営利活動法人 I Love つづき

## 1. 事業活動方針

2019 年度も事業目的「広く市民に対し、コミュニティや地域の環境に関しての情報を提供し、市民の参加を促し、健全なまちづくりのための活動を通して、地域の発展に寄与する」という活動趣旨に基づき、環境、防災、青少年育成、地域振興、福祉等の分野で幅広くまちづくりを行ってきました。

また、私たちが活動を通して知り合った多くの団体同士をつなげられるようなコーディネーターや、多くの市民がまちづくりへの関心を持ち、参加を促せるような場づくり、市民活動、地域活動の中間支援を、コミュニティカフェという場も活かしながら、行ってきました。

2020 年に入ってから、コロナウィルスの影響を受け、すべての事業の運営が難しくなりました。さらに拠点を引越することが決まり、飲食機能は持たない新しいコミュニティカフェとしてのスタートにチャレンジする準備をしました。

### (1) 特定非営利活動に係る活動

#### ①地域で生まれる商品、作品等を地域ブランドとして開発し販売を促進するための事業

##### 横濱良品館ショップ販売事業

内容) 横濱良品館は、障がいのある人たちの商品を扱う、ネットショップとシェアリーカフェ店内での販売事業です。イベントや催事などにも出店しました。また、レンタルボックスギャラリーをシェアするアトリエ「シェアトリエ」という名称で運営しています。

場所) ネットショップとしては全国展開。シェアトリエは当団体運営カフェ内に設置しています。

実行期間) 2019 年 4 月～2020 年 3 月

従事者人員) 3 人

支出額 586,204 円

#### ②地域活性化のための情報発信のサポート

内容) 地域情報サイト「ウェブタウン横濱」の運営を行いました。

このサイトを拠点に地域情報化の支援を行っています。このほか、商店街、NPO等のデジタル支援も行いました。

場所) ウェブサイトのためとくに場所は限定しないが、都筑区が中心。

実行期間) 2019 年 4 月～2020 年 3 月

従事者人員) 2 人

支出額 56,057 円

#### ③その他の地域支援活動事業

##### ア. シェアリーカフェの運営

内容) 地域コミュニティ拠点となる場の提供として、地域の人々の活動をサポートしました。カフェを通して、人と人のつながりをつくっています。またコンシェルジュなども行いました。ハウスクエア横浜より、地域のみなさまに楽しんでいただけるイベントの企画を依頼され、委託として多くのイベントを行いました。

場所) 横浜市都筑区中川

実行期間) 2019年4月～2020年3月

従事者人員) 10人

支出額 11,746,009円

イ. タウンセンター子育て地蔵まつり～キャンドルナイト

内容) センター北と南をつなぐ、「みなきたウォーク」のほぼ中央にある「子育て地蔵」。その周辺で「子育て地蔵まつり」を開催する実行委員会事務局として活動しました。会を重ねるごとにイベントが定着してきて、周知され、多くの参加者がありました。夜のキャンドルナイトもあわせて行いました。

場所) 横浜市都筑区 早淵川周辺、みなきたウォーク

実行期間) 2019年6月から準備 2020年9月14日日本番

ウ. 横浜産の野菜と小麦を使った商品開発プロジェクト「ヨコハマ小麦部」

内容) 当カフェで仕入れをしている福祉施設「都筑ハーベスト」の無農薬小麦を活かしたブランドづくりのプロジェクトです。2018年度に引き続き、助成金をいただき、継続しました。活動に参加しているグループ「ヨコハマ小麦部」で、商品開発の勉強会や畑の見学やお手伝いなどを行いました。地元の小学校の6年生1クラスがプロジェクトに参加し、同時に、地域のパン屋さんや菓子工房、福祉施設など3カ所の協働も得て、新商品の開発をし、販売しました。

実行期間) 2019年4月～2020年3月

従事者人員) 5人

支出額 414,552円

エ. 地域におけるIoTの学び推進事業

内容) 子ども・シニア・地域住民の活動・交流の場を軸として行うプログラミング事業です。前年度総務省の事業が終了し、2019年度は独自事業となりました。今後もプログラミング活動を通じて、人と人とのつながりができる地域づくりを目指しました。2019年度は横浜市教育委員会のこどもアドベンチャーの受け入れの場としてシェアリーカフェでのワークショップ開催や、地区センターのおまつりに体験ブースを出したり、プログラミング講座を行いました。また、総務省による、地域ICTクラブの普及展開に関わるイベント参加(岡山県で実施)や霞が関子ども見学デーにてワークショップを実施しました。

実行期間) 2019年4月～2020年3月

従事者人員) 5人

支出額 979,600円

オ. 横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業(通所型支援)

横浜市通所型支援事業サービスBです。毎週金曜に「スローカフェ都筑」として、都筑区役所、都筑区社協、中川地域ケアプラザなどしっかりと連携し、要支援の方たち向けのプログラムを実施し、好評です。参加者はしだいに増えてきています。コロナの影響で2月の終わりから実施ができていませんが、次年度より受け入れ人数を増やしていく予定です。

実行期間) 2019年4月～2020年3月

従事者人員) 5人

支出額 1,125,479円

カ. 都筑区民活動センター夜間開催事業

都筑区総合庁舎内にある、都筑区民活動センターの夜間開館を検討するプロジェクト。毎週金曜 17 時～20 時にさまざまなしかけをし、夜間の利用について提案した。

従事者人員) 3 人

キ.その他、他団体の事業を共催

・横浜市立大学と協働で、都筑区における職住近接のインタビュー調査を行い、広く知ってもらうためのパンフレットを作成しました。

・事務所所在地である中川エリアのネットワークで、中川ルネッサンスプロジェクト、早渕川老馬谷ガーデンに参加、中川ふれあいフェスタ等に参画しています。

・コミュニティカフェネットワーク (YCCN) に所属して意見交換をしています。2019 年度は YCCN の中で、横浜市通所型支援サービス B の事業がどのような効果を生み出しているかの調査を実施しました。

実行期間) 2019 年 4 月～2020 年 3 月

従事者人員) 8 人

イ+カ+キ 支出額 626,574 円